

## 明和病院 施設紹介

呼吸器内科・呼吸器センター 坂東 憲司

明和病院は、戦時中に戦闘機などを製造し、現在は救難飛行艇、旅客機の主翼や胴体パーツなどを生産する新明和工業が、西宮市鳴尾に開設した地域密着型の357床（一般311床、地域包括ケア46床）外来患者数850人/日、医師80人の総合病院です。

甲子園球場近傍にあり、プロ野球・高校野球の全試合に、医師1名・コメディカル3名からなる救護班を派遣しています。

消化器外科主導の急性期病院で、スポーツ整形にも力を入れ、アスレチックリハで多数のマシンが並ぶ様は壮観です。透析ベッドも64床保有しています。消化器内科・循環器内科など内科各科も盛んですが、呼吸器内科だけがないとのことで、創設するために2016年に招聘されました。ERやICUも大きく、肺炎・喘息・肺癌・間質性肺炎などの多くの呼吸器疾患患者さんの診療で、てんてこ舞いの日々です。癌を一貫して診療し、施設内で治療まで完結するという方針の下、隣接地にPET/CT・SPECT・最新式放射線治療装置・核シンチを備えた明和がんセンターを設置しています。気管支鏡検査も2016年5月から開始し、EBUS-GSやEBUS-TBNAも行ないます。京大呼吸器外科同門の香川大学より呼吸器外科医2名が着任し、完全胸腔鏡下手術を行っています。院内外で研修会や講演会も多く、臨床重視の活気ある病院です。2018年1月より、日本呼吸器学会認定施設、呼吸器外科専門医制度関連施設となっています。日本呼吸器内視鏡学会施設認定は2018年に申請予定です。現在呼吸器内科医員を募集しております。西宮市には呼吸器内科が当院以外には1病院にしかなく、基本的な診療も定着していません。そのため、ERから入院する重症の呼吸器疾患の患者が多く、ICUも使用して治療にあたっています。やりがいがあると思います。尼崎から神戸までの間の呼吸器診療の空白を埋めるべく、臨床の第一線で働きたいと考える方はいつでもご連絡ください。